

フェニックスプロジェクト 企画書

1. プロジェクト概要

フェニックスプロジェクトは、長岡 & 能登で生まれた「フェニックス」という歌を通じて、被災地をはじめとする全ての復興・再生に向けて頑張る人々に勇気と希望を届ける活動です。歌うことそのものが再生とつながりを象徴する活動となることも目指します。

2. プロジェクトの目的

1. 音楽を通じてみんなでつながる！合唱活動の復興へ！

- 「フェニックス」や「花火3部作」を全国で歌い、復興や再生のメッセージを広げます。
- コロナで大打撃を受けた合唱や音楽活動そのものの復興も目指します。
- 能登の子どもたちに、歌が広がっていく様子を伝え続け、元気になってほしいです。

2. 能登の子どもたちが「応援団」になる

- 東北で活動をしていたとき、『被災者として「応援される」ことばかりではなく、自分たちも応援をしたい』という言葉いただきました。「応援する」ときの前向きなパワーは自分自身を元気にしてくれることに気づかされました。そういえば、運動会のときに一番元気だったのは「応援団」のみんなだったことを思い出しました。
 - 今回、復興の歌が広がり、能登で生まれた歌を通じて、笑顔が広がっていくことを通じて「自分たちは応援団にもなれるんだ！みんなに元気を送ることができるんだ」という実感を、能登の子どもたちにも持ってもらえたらいいなと思いました。
-

3. 47 都道府県でつながろう！

● 活動内容：

1. 参加いただく団体に（「ゆめはなび」「HANABI」「フェニックス」）の楽譜と音源を提供します。
2. 「歌」と「復興への応援メッセージ」の動画データを、ネット経由で、送って下さい。
3. 途中経過を発信することで、能登や参加してくれた合唱団が歌でつながっていく様子を実感いただけたと思います。（ショート動画などで発信していくので子どもたちの肖像権の許可をよろしくをお願いします。）

● 期待される効果：

- 全国規模で復興や再生のメッセージを共有。
- 能登の子どもたちと音楽で繋がり、歌の応援メッセージを届けられる。
- 歌を通じてつながることで、地域や世代を超えた絆を感じられる。

● 進行スケジュール：

- 1月～3月：一次募集 & 楽譜と音源の配布。
- 4月～8月：各地での練習と動画撮影。
- 10月23日：「全日本音楽教育研究会」佐賀大会にて完成動画を発表させていただきます。